

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

国語

科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～C組

教科担当者：

使用教科書：（大修館書店『論理国語』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。	文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。	身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	学	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	A 単元 世界・言葉・私 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 「対話の精神」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	12
	定期考査					○	○	○	1	
	B 単元 芸術と文化 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 「ミロのヴィーナス」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	13
定期考査						○	○	○	1	

2 学 期	C単元 共同体のいま 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 「家族化するペット」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	14
							○	○	○	1
	D単元 科学の可能性 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 「自己をモデル化する知能」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	17
定期考査						○	○	○	1	
3 学 期	E単元 日本語の多様性 【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと ・教材 「敬語への自覚、他者への自覚」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 現代文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図ろうとしている。	○	○	○	17
	定期考査						○	○	○	1
計										78

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

国語

科目 教養国語

教科： 国語

科目： 教養国語

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：

使用教科書：

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 教養国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	学	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元 漢字の音訓について 【知識及び技能】 ・漢字の成り立ちを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の文化的な背景を理解し、自分で新しい漢字を作成するなど表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文の学習に興味をもち、物語の展開や話のおもしろさを理解しようとしている。	○	○	○	4
	単元 漢字の部首について 【知識及び技能】 ・漢字の成り立ちを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の文化的な背景を理解し、自分で新しい漢字を作成するなど表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文の学習に興味をもち、物語の展開や話のおもしろさを理解しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○	○	1
	単元 ことわざ・故事成語 【知識及び技能】 ・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、作者の感覚や、作者の人物像をとらえようとしている。	○	○	○	5

	<p>単元 文章表現</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や文章の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味を持ち、歌に込められた心情や恋愛、結婚のあり方をとらえようとしている。 	○	○	○	9
	定期考査						○	○	○	1
	<p>単元 一般常識</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字を使用し、読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類をふまえて、場面ごとの人物の心情の変化をとらえている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味をもち、人物の心情の変化を理解しようとしている。 	○	○	○	16
	定期考査						○	○	○	1
2 学 期	<p>単元 短歌・俳句・現代用語について</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や文章の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味を持ち、歌に込められた心情や恋愛、結婚のあり方をとらえようとしている。 	○	○	○	14
	定期考査						○	○	○	1

3 学 期	単元 敬語 【知識及び技能】 ・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文から現代に生きる言葉や考え方について理解しようとしている。	○	○	○	4
	単元 日本語を使いこなす 【知識及び技能】 ・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品との関係をふまえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「蛇足」から現代に生きる言葉や考え方について理解しようとしている。	○	○	○	8
	単元 ディベート 【知識及び技能】 ・現代文、古文、漢文のさまざまな文章に触れ、言語感覚を磨き、言語と文化の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章読解を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身につけた知識や思考力を用いて進んで表現することによって社会生活の充実を図る。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語の決まりや訓読の決まり、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているもの感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自然や人生をうたった漢詩に興味をもち、表現の特徴を理解しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1
									計	78

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組 C 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高校生の地理総合 帝国書院 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色に関して理解するとともに、諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理的事象の意義を、多面的・多角的に考察する力や、それらを効果的に説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理的事象を踏まえて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 地図や地理情報システムで捉える現代世界 (1)地図や地理情報システムと現代世界 【知識及び技能】 地図や地理情報システムの種類や見方、利用の仕方について、必要な知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 地図から各地域が抱える課題を抽出し、洞察する力を養成する。 【学びに向かう力、人間性等】 上記で抽出した課題を自分の問題として自覚化し得る力をつける。	1 部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1 章 地図や地理情報システムと現代世界 ・ 1 節 地球儀と地図 ・ 2 節 地図と地理情報システム	【知識・技能】 地図について種々の知識を獲得し得たか。 【思考・判断・表現】 地図から各地域の課題を抽出し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 抽出した各地域の課題を自分の問題として考察し得たか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	A 単元 地図や地理情報システムで捉える現代世界 (2)結びつきを深める現代世界 【知識及び技能】 国家間の結びつきの契機と要因について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国家間の結びつきのきっかけや原因を多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国家間の結びつきの中における日本の位置を自覚化する。	1 部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 2 章 結びつきを深める現代世界 ・ 1 節 現代世界の国家と領域 ・ 2 節 地図からみる国内や国家間の結びつき	【知識・技能】 国家間の結びつきについてきちんと知識が定着したか。 【思考・判断・表現】 国家間の結びつきについて多角的に考えられたか。 【学びに向かう力、人間性等】 国家間の結びつきの中における日本の位置について自分の問題として自覚化できたか。	○	○	○	11
B 単元 国際理解と国際協力 (1)生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 世界の地形・気候と人々の生活について知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 地形と気候がいかに人々の生活を規定するのかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 地形と気候がもたらす事柄を自分のこととして認識する。	2 部 国際理解と国際協力 1 章 生活文化の多様性と国際理解 ・ 1 節 世界の地形と人々の生活 ・ 2 節 世界の気候と人々の生活 ・ 東南アジア ・ 中央アジア、西アジア、北アフリカ ・ ロシア	【知識・技能】 世界の地形・気候と人々の生活についての知識を獲得できたか。 【思考・判断・表現】 世界の地形・気候と人々の生活の連関性を理解し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の地形・気候が人々の生活にもたらす影響を知り、自分をとりまく環境に思いをめぐらすことができたか。	○	○	○	6	
定期考査			○	○		1	
2 学 期	B 単元 国際理解と国際協力 (1)生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 世界の産業・宗教・民族・言語と人々の生活の知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の産業・宗教・民族・言語がいかに人々の生活を規定するのかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の産業・宗教・民族・言語と人々の生活の関係性を知り、自分をとりまく世界に思いを致す。	2 部 国際理解と国際協力 1 章 生活文化の多様性と国際理解 ・ 2 節 世界の産業と人々の生活 ・ 3 節 世界の言語・宗教、歴史的背景と人々の生活 ・ 東アジア ・ インド ・ サハラ以南アフリカ ・ ヨーロッパ ・ アメリカ合衆国 ・ ラテンアメリカ ・ オセアニア	【知識・技能】 世界の産業・宗教・民族・言語と人々の生活の知識を獲得できたか。 【思考・判断・表現】 世界の産業・宗教・民族・言語と人々の生活の連関性を理解し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の産業・宗教・民族・言語と人々の生活についての学びを、自分をとりまく世界に自覚化できたか。	○	○	○	10
	B 単元 国際理解と国際協力 (2)地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 地球的課題について、人口問題・食料問題・都市問題等の諸問題の知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 人口問題・食料問題・都市問題等がどのように問題化するのかを考察する力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 人口問題・食料問題・都市問題等を自分をとりまく問題として自覚化する。	2 部 国際理解と国際協力 2 章 地球的課題と国際協力 ・ 1 節 人口問題 ・ 2 節 食料問題 ・ 3 節 都市・居住問題	【知識・技能】 人口問題・食料問題・都市問題等の諸問題がいかに地球的課題になっているかについて知識を獲得し得たか。 【思考・判断・表現】 人口問題・食料問題・都市問題等の要因・現状・未来展望について考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 人口問題・食料問題・都市問題等の解決策について自分の問題として自覚化し得たか。	○	○	○	8

	定期考査			○	○		1
	B 単元 国際理解と国際協力 (2)地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 地球的課題について、感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等の諸問題の知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等がどのように問題化するかを考察する力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等を自分を取りまく問題として自覚化する。	2部 国際理解と国際協力 2章 地球的課題と国際協力 ・4節 感染症・衛生問題 ・5節 資源・エネルギー問題 ・6節 地球環境問題	【知識・技能】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等の諸問題がいかに地球的課題になっているのかについて知識を獲得し得たか。 【思考・判断・表現】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等の要因・現状・未来展望について考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 感染症・衛生問題・資源・エネルギー問題等の解決策について自分の問題として自覚化し得たか。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	C 単元 持続可能な地域づくりと私たち (1)自然環境と防災 【知識及び技能】 日本の自然環境とそれがもたらす災害について知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の自然環境と災害の連関性を考察できる力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の自然環境と災害の連関性から防災対策を自分の問題として自覚化する。	3部 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災 ・1節 自然災害と暮らし ・2節 日本の自然環境 ・3節 地震・津波や火山活動による災害と防災	【知識・技能】 日本の自然環境とそれがもたらす災害について知識を獲得し得たか。 【思考・判断・表現】 日本の自然環境と災害の連関性を考察し得たか。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の自然環境と災害の連関性をふまえて防災対策を自分の問題として自覚化し得たか。	○	○	○	9
	C 単元 持続可能な地域づくりと私たち (1)自然環境と防災 【知識及び技能】 気象災害や自然災害の種類と防災についての知識を獲得する。 【思考力、判断力、表現力等】 気象災害や自然災害にどのような備えができるのかを考察する力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 気象災害や自然災害を自分の問題として自覚化する。	3部 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災 ・4節 気象災害と防災 ・5節 自然災害への備え	【知識・技能】 気象災害や自然災害の種類と防災について知識を獲得し得たか。 【思考・判断・表現】 気象災害や自然災害への備えを考える力が備わったか。 【学びに向かう力、人間性等】 気象災害や自然災害を自分の問題として自覚化し得たか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

数学 科目 数学A

教科： 数学

科目： 数学A

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ C 組

教科担当者：

使用教科書：（改訂版 新 高校の数学A（数研出版））

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	1. 集合	【知識・技能】 ○共通部分、和集合、空集合、全体集合、補集合など集合に関する用語を理解し、それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○条件を満たすものを集合の要素として考え、表すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○集合の考えについて興味をもち、いろいろな集合を表そうとする。	○	○	○	2
		2. 集合の要素の個数	【知識・技能】 ○集合の要素の個数を、数え上げることで求めることができる。 ○補集合や和集合の要素の個数の公式を理解し、それらを用いて要素の個数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○ものを数え上げるのに集合を利用して考察することができる。 ○ベン図を利用して集合を図示することで、補集合や和集合の要素の個数を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○ベン図や公式を利用することで、集合の要素の個数を数学的に数えようとする。	○	○	○	3
		3. 和の法則と積の法則	【知識・技能】 ○樹形図を用いたり順序だてて並べたりすることで、場合の数を漏れなく重複なく数えることができる。 ○和の法則や積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○和の法則を、表を利用することで、また積の法則を、樹形図の特別な場合として考察することで見いだすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○場合の数を求めるのに、効率的に考えることができる法則（和の法則・積の法則）があることに興味をもち、使いこなそうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
		4. 順列	【知識・技能】 ○順列の意味を理解し、公式を利用することができる。 ○簡単な場合の数を、順列の考えを利用して求めることができる。 ○すべてを取った順列の総数から得られる階乗とその記号を理解し、これを活用できる。 ○様々な場合の数を、順列、円順列、重複順列に帰着させて求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○となりあう場合の順列のような、特殊な条件が付く順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ○既知の順列や積の法則をもとにして、円順列、重複順列を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○様々な場合の数を求めるのに、順列の考え方が使えることに興味・関心をもつ。 ○順列、円順列、重複順列の違いを見い出そうとしている。	○	○	○	6

	5. 組合せ	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組合せの意味を理解し、公式を利用することができる。 ○簡単な場合の数を、組合せの考えを利用して求めることができる。 ○組合せの性質を理解し、公式を利用することができる。 ○様々な場合の数を、組合せの考えを利用して求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組合せの総数と順列の総数の関係を理解し、順列の総数をもとにして、組合せの総数を考察することができる。 ○特殊な条件が付く組合せを、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○順列と組合せの違いや、様々な場合の数を求めるのに、組合せの考え方が使えることに興味・関心をもつ。 ○組合せの考え方を利用して、図形の個数や遠回りをしない道順などの具体的な事象の場合の数を求めようとする。 	○	○	○	6
第2節 確率 確率の意味と確率を求めるときの基本的な法則や考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	1. 事象と確率	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○試行の結果としての事象を集合として表すことができる。 ○確率の定義を理解し、簡単な確率を求めることができる。 ○確率の性質を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○試行の結果を事象としてとらえ、事象を集合と結びつけて考察することができる。 ○ものごとの起こりやすさを、同様に確からしいという概念をもとに数量的に考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さいころを何回も投げる実験において、ある目が出る割合が一定の値に近づくことに興味をもち、その値の求め方を考えようとする。 ○ものごとの起こりやすさを、数値を使って計算で求めようとする。 	○	○	○	4
定期考査			○	○	○	1
2 学 期	2. 確率の計算	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表や組合せの考えを活用して、確率を求めることができる。 ○排反事象の意味を理解し、確率を求めることができる。 ○余事象の意味を理解し、確率を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○排反事象や余事象の確率などを利用して、複雑な事象の確率を考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでに学んだ確率の性質を利用して、いろいろな場合の確率を意欲的に求めようとする。 	○	○	○	6
	3. 独立な試行と確率	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○試行が独立か、独立でないかを判断することができる。 ○独立な試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 ○反復試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○独立な試行の確率を、具体的な例から直観的に考えることができる。 ○反復試行の意味を理解し、確率の求め方を組合せの考えと関連付けて考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○独立な試行の確率や反復試行の確率について、興味をもって求めようとする。 	○	○	○	4
	4. 条件つき確率	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○条件つき確率の定義を理解し、確率を求めることができる。 ○確率の乗法定理を理解し、確率を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○確率の乗法定理を利用することで、くじを引くときの順番には当たる確率は関係がないことを理解し、説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○条件つき確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち、活用しようとする。 ○確率の乗法定理を活用して、「くじを引く順番と確率」といった身近な確率の問題解決に積極的に取り組もうとする。 	○	○	○	4

	5. 期待値	<p>【知識・技能】</p> <p>○期待値について理解し、いろいろな場合の期待値を求めることができる。</p> <p>○損得判断をするときに、期待値を判断材料の1つとして利用することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○期待値を、確率の考えに基づいて考察することができる。</p> <p>○損得を考える際に、期待値をどのように活用すればよいかを判断し、説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>○賞金や得点などの期待を、客観的な数値で表すことに興味をもち、期待値を求め、考察しようとする。</p>	○	○	○	3
定期考査			○	○	○	1
第2章 図形の性質 第1節 平面図形 平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	1. 図形の基本	<p>【知識・技能】</p> <p>○図形の基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや辺の長さを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○角の大きさや辺の長さを求めるのに、図形のどの基本性質を使えばよいかを判断できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>○図形の基本性質について既に学んだ事項を思い出し、それらを活用できる場面を見いだそうとしている。</p>	○	○	○	2
	2. 角の二等分線と線分の比	<p>【知識・技能】</p> <p>○角の二等分線と線分の比の定理を理解し、それを用いて辺や線分の長さを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○角の二等分線と線分の比の定理を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>○外角の二等分線についても内角の場合と同様の定理が成り立つことに興味をもつ。</p>	○	○	○	2
	3. 三角形の外心・内心・重心	<p>【知識・技能】</p> <p>○三角形の外心・内心・重心の定義とその性質を理解し、それらを用いて角の大きさや線分の長さを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○三角形の外心・内心・重心の性質を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>○三角形の外心・内心・重心に関する性質に興味をもち、考察しようとする。</p>	○	○	○	4
	4. 円周角の定理	<p>【知識・技能】</p> <p>○弧、弦、円周角、中心角など円に関する用語を理解している。</p> <p>○円周角の定理を理解し、角の大きさを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○円周角の定理の逆を理解し、等しい角に着目して考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>○中学校で学んだ円周角の定理とその逆を思い出し、それらを活用しようとしている。</p>	○	○	○	2
	5. 円に内接する四角形	<p>【知識・技能】</p> <p>○円に内接する四角形の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○円に内接する四角形の性質やその逆を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。</p> <p>○四角形が円に内接する条件について、対角に着目して考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>○四角形が円に内接する条件に興味をもち、考察しようとする。</p>	○	○	○	2
	6. 円の接線	<p>【知識・技能】</p> <p>○接線と弦のつくる角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。</p> <p>○円の接線の長さが等しいことを理解し、辺や線分の長さを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○円と直線を動的にとらえて、それらの位置関係を考察することができる。</p> <p>○接線と弦のつくる角の性質を証明する際に、場合分けをしながら考察することができる。</p> <p>○円の接線の長さが等しいことを証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>○円の接線にはいろいろな性質があることを知り、それぞれの性質と活用法について興味をもつ。</p>	○	○	○	2
定期考査			○	○	○	1

3 学 期		7. 方べきの定理	<p>【知識・技能】 ○方べきの定理を理解し、線分の長さを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○方べきの定理を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○相似を利用した方べきの定理の導き方に興味をもつ。</p>	○	○	○	3
		8. 2つの円	<p>【知識・技能】 ○2つの円の位置関係には5つのパターンがあることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○5つの円の位置関係を、動的な視点によって観察・分類することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○2つの円の位置関係について、中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。</p>	○	○	○	2
		9. 作図	<p>【知識・技能】 ○中学校で学んだ基本的な作図を行うことができる。</p> <p>○円の接線を、基本的な作図の組み合わせによって描くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○さまざまな図形を、基本的な作図の組合せによって描くことができることを説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○コンパスと定規を使って作図に積極的に取り組もうとする。</p> <p>○作図に対して、なぜそれが正しいか考え、説明しようとする態度がある。</p>	○	○	○	5
	第2節 空間図形 空間図形の性質についての理解を深め、それらを観察したり考察したりすることで、空間認識力の育成を図る。	1. 空間の直線, 平面	<p>【知識・技能】 ○2直線の関係、直線と平面の関係、2平面の関係には3種類ないしは2種類あることを理解し、それらの位置関係を示すことができる。</p> <p>○2直線のなす角、直線と平面の垂直条件、2平面の位置関係について理解し、角の大きさやそれらの関係性を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○直線と平面が垂直になるための条件を、本を立てたときの状態に当てはめるなど具体的な事例によって考察することができる。</p> <p>○直線や平面が平行または垂直となるかどうかを、立方体を例として考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○直線や平面の位置関係にはさまざまな状態があることに興味をもち、それらの性質を理解しようとする。</p>	○	○	○	3
		2. 正多面体	<p>【知識・技能】 ○多面体や正多面体の定義を理解し、それらの頂点、辺、面の数を求めることができる。</p> <p>○正多面体の特徴を理解し、正多面体が5種類のみであることを知っている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○多面体の頂点、辺、面の数に関して成り立つ性質を具体的な例によって確認し、説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○多面体に関して成り立つ性質について興味をもち、その性質を確認しようとしている。</p>	○	○	○	3
		3. 立体の切断	<p>【知識・技能】 ○立体を平面で切り取ったときの切り口の形や切り取られてできる立体について、どのような形状になるかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○立体の切り取り方によって切り口の形が異なることや、そのときの切り口の特徴について説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ○立体の切り口の形がどのようなのかについて興味をもち、その特徴を見つけ出そうとしている。</p>	○	○	○	1
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							78

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～C組

教科担当者：

使用教科書：（ /版生物基礎 改訂版 【啓林館】 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学期	現存する多様な生物には共通性があり、その共通性は共通の起源をもつことに由来することがわかる。細胞が基本単位であることがわかる。	第1部生物の特徴 ・生物の多様性と共通性 ・生物の進化と系統 ・真核細胞の構造 ・原核細胞の構造	【知識・技能】生物群の系統樹上での類縁関係がわかる。多様な生物の共通点がある。細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点がある。 （提出課題、定期考査） 【思考・判断・表現】生物としての共通の特徴をあげることができ、多様な生物群が単一の共通先祖に由来すると考えることができる。細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点を考えることができる。 （提出課題、定期考査） 【学びに向かう力、人間性等】多様な生物に関心を持ち、形態や生活の多様さを知らうとする意欲を持っている。細胞小器官の特徴と働きに注目する。 （行動観察、提出課題）	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	生命活動に必要なエネルギーとATPについてわかる。光合成によって光エネルギーを用いて有機物がつくられ、呼吸によって有機物からエネルギーが取り出されることがわかる。	第1部生物の特徴 ・生命活動とエネルギー ・ATPの構造 ・生体内の化学反応と酵素 ・光合成と呼吸	【知識・技能】ATPが果たす役割について理解する。酵素反応の特徴を理解できる。光合成の場である葉緑体と呼吸の場であるミトコンドリアを理解する。 （提出課題、定期考査） 【思考・判断・表現】代謝におけるエネルギーについて考えることができる。酵素の働きについて考えることができる。細胞内での光合成の場と呼吸の場を葉緑体やミトコンドリアと関連させることができる。 （提出課題、定期考査） 【学びに向かう力、人間性等】生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。ATPとエネルギーの移動、酵素の役割について関心を持つ。光合成と呼吸の反応とエネルギーの転換を関連させて考えることができる。 （行動観察、提出課題）	○	○	○	13
定期考査			○	○	○	1	
2 学期	DNAが塩基の相補性に依存して二重らせん構造をもち、塩基の配列が遺伝情報となることわかる。体細胞分裂では、分裂前に母細胞のDNAと同じ塩基配列のDNAが作られることがわかる。転写と翻訳における塩基配列からアミノ酸配列への情報の流れがわかる。また、タンパク質が酵素として働くことで、生命現象を支えていることがわかる。	第2部遺伝子とその働き ・DNAの構造と遺伝情報 ・DNA複製 ・転写と翻訳	【知識・技能】DNAの二重らせん構造と塩基の相補性の重要性が理解できる。転写と翻訳の過程を理解し、遺伝情報が転写されたmRNAの役割を理解することができる。タンパク質が生命現象と関連して多様な働きをしていると考えることができる。 （提出課題、定期考査） 【思考・判断・表現】DNAの二重らせん構造における塩基配列が遺伝情報となると考えることができる。母細胞のDNAの複製は塩基配列の相補的な複製であることが表現できる。遺伝情報である塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。 （提出課題、定期考査） 【学びに向かう力、人間性等】遺伝子が親から子へと伝えられる因子であることと、DNAの特徴について関心を持ち考えようとする。RNAとタンパク質の構造、および転写と翻訳のしくみに関心を持つ。ゲノム医療など最新の医学的話題にも関心を持つ。 （行動観察、提出課題）	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
	病原菌などの異物を認識、排除して体内環境を守るしくみがわかる。非特異的な自然免疫の反応がわかる。体液性免疫と細胞性免疫のそれぞれのしくみがわかる。免疫が実際の病気とどのように関わっているのかわかる。	第3部ヒトの体の調節 ・生体防御の概要 ・自然免疫のしくみ ・獲得免疫のしくみ ・免疫と病気	【知識・技能】生体防御には異物に対する防御と自然免疫、獲得免疫があることを理解する。生体に異物が侵入してから起こる経過を体液性免疫と細胞性免疫にわけて理解する。予防接種、ワクチンと免疫の関係がわかる。 （提出課題、定期考査） 【思考・判断・表現】自然免疫を獲得免疫と対比させて考えることができる。体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。アレルギーなどの免疫反応を例をあげて説明できる。 （提出課題、定期考査） 【学びに向かう力、人間性等】免疫のしくみに関心を持つ。予防接種や感染症との関連も含めて、免疫に関する話題に興味を持つ。 （行動観察、提出課題）	○	○	○	16
定期考査			○	○	○	1	
3 学期	多様な植生が成立する要因には植物の環境への適応が関わっていることがわかる。陸上の植生が移り変わっていくこととその要因がわかる。気温と降水量の違いによって、地球上ではさまざまなバイオームが成立していることがわかる。生態系の成り立ちとバランスについて理解する。	第4部生物の多様性と生態系 ・環境と生物 ・遷移の過程 ・遷移と世界のバイオーム ・生態系における生物の役割 ・種の多様性と食物連鎖 ・生態系と生態ピラミッド ・生態系のバランスと変動	【知識・技能】土壌にすむ動物を観察することができる。生態系を食物連鎖の関係で把握することができ、それぞれの量的関係を理解できる。 （提出課題、定期考査） 【思考・判断・表現】生態系の成り立ちと構成要素について具体的な生物をあげて考えることができる。生態系のバランスについて考えることができる。外来生物の影響について考えることができる。 （提出課題、定期考査） 【学びに向かう力、人間性等】生態系をどのように把握できるか関心を持っている。生態系に与える人間生活の影響について関心をもっている。 （行動観察、提出課題）	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							78

足立 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育

科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組・C 組

教科担当者：

使用教科書：（大修館 現代高等保健体育）

教科 保健体育

の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 体づくり運動(体ほぐしの運動)</p> <p>【知識および技能】 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体との関係や心身の状況に気づき、仲間と積極的に関わることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人ひとりの違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとする、ことなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。</p>	<p>①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすること。②大きくリズムカルに全身や体の各部位を振ったり、回したり、ねじったり、曲げ伸ばししたりすること。③いろいろなフォームで様々な用具を用いて、タイミングよく跳んだり、転がしたりすること。④自己の体重を利用して腕や脚を屈伸したり、腕や脚を上げたり下ろしたり、同じ姿勢を維持したりすること。</p>	<p>【知識・技能】 ①体づくり運動のうち、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることについて、理解したことを言ったり、書き出したりしている。②体づくり運動のうち、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める意義があることについて、理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①体ほぐしの運動で「心と体の関係や心身の状態に気づく」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえてねらいに応じた運動を選んでいる。②学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。②仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>C 陸上競技(短距離走、長距離走)</p> <p>【知識および技能】 クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができるようにする。ペースを守り、一定の距離を走ることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 掲示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技の学習に積極的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>①クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速すること。②ペースを守り、一定の距離を走ること。</p>	<p>【知識・技能】 ①クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができる。②腕に余分な力を入れず、リラックスして走ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①掲示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①陸上競技の学習に積極的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3

1・3学期	<p>H 体育理論</p> <p>【知識および技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>①体力の構成要素と技能との関係を理解すること。②トレーニングの原理・原則を理解すること。③スポーツ外傷とスポーツ障害について整理すること。④気温や天候、湿度等の環境条件に潜む危険を理解すること。⑤技術と技能の違いについて理解すること。</p>	<p>【知識・技能】 ①運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること、また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること、さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があることについて、言ったり、書きだしたりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見している。②運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
1学期・2学期・3学期	<p>E 球技(ゴール型・バスケットボール)</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどが、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。②味方が操作しやすいパスを送ること。③守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤パスを出した後、次のパスを受ける動きをすること。⑥ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れること。⑦ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ること。⑧ゴール前の空いている場所をカバーすること。</p>	<p>【知識・技能】 ①バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③安定したボール操作や状況に応じたボール操作、チームメイトと連携して空間を作り出す動きや空間を埋める動きなどをゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	○	○	○	8
				○	○	○	2

1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	<p>E 球技(ネット型・バドミントン)</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①サーブでは、シャトルをねらった場所に打つこと。②シャトルを相手側のコートに打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。</p>	<p>【知識・技能】 ①バドミントンの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	○	○	○	8
	実技テスト				○	○	○
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	<p>E 球技(ネット型・卓球)</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートに打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。</p>	<p>【知識・技能】 ①卓球の技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てたりすることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	○	○	○	8
	実技テスト				○	○	○

1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	<p>E 球技(ネット型・バレーボール)</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどが、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②腕を強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。③ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。④連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。</p>	<p>【知識・技能】 ①バレーボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	○	○	○	8
	実技テスト				○	○	○
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	<p>E 球技(ゴール型・アルティメット)</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安定したディスク操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどが、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①エンドゾーン内にパスをコントロールすること。②味方が操作しやすいパスを送ること。③守備者とディスクの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。⑥ゴールとディスク保持者を結んだ直線上で守ること。</p>	<p>【知識・技能】 ①アルティメットの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③安定したディスク操作やエンドゾーン前での攻防を展開するためのディスク操作と空間に走りこむなどの動きをゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	○	○	○	9

		実技テスト	○	○	○	2	
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	E 球技(ネット型・テニス)	①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】 ①テニスの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にしてゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	9
		実技テスト	○	○	○	2	
						合計 78	

足立 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

保健体育 科目 ステップアップスポーツ

教科：保健体育

科目：ステップアップスポーツ

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組・C組

教科担当者：

使用教科書：（大修館 現代高等保健体育）

教科 保健体育

の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 ステップアップスポーツ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ゴール型・バスケットボール) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①ゴールの枠内にシュートをコントロールすること。②味方が操作しやすいパスを送ること。③守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤パスを出した後に次のパスを受け取る動きをすること。⑥ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れること。⑦ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ること。⑧ゴール前の空いている場所をカバーすること。	【知識・技能】 ①バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会のおこない方を理解することができた。③安定したボール操作や状況に応じたボール操作、チームメイトと連携して空間を作り出す動きや空間を埋める動きなどをゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てたりすることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	18
	実技テスト				○	○	○
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	球技(ネット型・バドミントン) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	①サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートに打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】 ①バドミントンの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防がゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てたりすることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームのおこない方を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。	○	○	○	18
	実技テスト				○	○	○

1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	<p>球技(ネット型・卓球)</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートに打ち返すこと。③腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。</p>	<p>【知識・技能】 ①卓球の技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	○	○	○	17	
	実技テスト				○	○	○	2
1 学 期 ・ 2 学 期 ・ 3 学 期	<p>球技(ネット型・テニス)</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートに打ち返すこと。③ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。④連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。</p>	<p>【知識・技能】 ①テニスの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができた。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をゲームで行うことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができた。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。③チームで作戦や戦術を選ぶ際に、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。④体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①分担した役割に主体的に取り組む、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。②競技の特性に応じた危険を理解したうえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすることができた。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を称えとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができた。</p>	○	○	○	17	
	実技テスト				○	○	○	2
							合計	78

足立 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 芸術（美術） 科目 造形表現と鑑賞

教科： 芸術（美術）

科目： 造形表現と鑑賞

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～

組

教科担当者：

使用教科書：（

）

教科 芸術（美術）

の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 造形表現と鑑賞

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ	映						
A 題材 オリジナルのロゴをつくろう （レタリング） 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や形態などの表現を工夫し、主題を追求しあらわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組もうとしている。	・指導事項 ○レタリングの練習（明朝体） ○ロゴのデザイン（色彩・形） ・教材 ○鉛筆、消しゴム、ケント紙、参考作品、定規、アクリル絵具等 ・書画カメラ	○			【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や形態などの表現を工夫し、主題を追求しあらわすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え表現の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組むことができる。		○	○	○	14
B 題材 和の文様を生かしたレリーフをつくろう 【知識及び技能】 ・レリーフの各技法についての知識・理解を深める。 ・和の文様についての知識・理解を深める。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の思いや感情から主題を生成し、形、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に、自分の思いや感情などをもとにした表現の創作活動に取り組もうとしている。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化しようとしている。	・指導事項 ○レリーフ（浮き彫り）の各技法の演習 ○レリーフのデザイン ・教材 ○鉛筆、消しゴム、板、参考作品、下描き用紙、トレーシングペーパー、カーボン紙、彫刻刀など ・書画カメラ	○		○	【知識及び技能】 ・レリーフの各技法についての知識・理解を深めることができる。 ・和の文様についての知識・理解を深めることができる。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し主題を追求して創造的にあらわすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の思いや感情から主題を生成し、形、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に、自分の思いや感情などをもとにした表現の創作活動に取り組んでいる。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化することができる。		○	○	○	13

1
学
期

2 学 期	<p>C 題材 理想の部屋を描こう (一点透視図法)</p> <p>【知識及び技能】 ・一点透視図法および二点透視図法について理解する。 ・主題を追求して創造的にあらわしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、一点透視図法を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に取り組み、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。</p>	<p>・指導事項 ○一点透視図・二点透視図の作図練習 ○理想の部屋のアイデアスケッチ ○理想の部屋の作図</p> <p>・教材 ○鉛筆、消しゴム、参考作品、定規、色鉛筆、参考資料など</p> <p>・書画カメラ</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 ・一点透視図法および二点透視図法を理解している。 ・主題を追求して創造的にあらわすことができている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、一点透視図法を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に取り組み、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組んでいる。</p>	○	○	○	19
	<p>D 題材 等角投影図法で不思議な空間をつくろう (投影図)</p> <p>【知識及び技能】 ・等角投影図法について、その効果を理解する。 ・主題を追求して創造的にあらわしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、等角投影図法を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に取り組み、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。</p>	<p>・指導事項 ○等角投影図法の作図練習 ○等角投影図法のアイデアスケッチ ○等角投影図法の作図</p> <p>・教材 ○鉛筆、消しゴム、参考作品、定規、色鉛筆、参考資料など</p> <p>・書画カメラ</p>	○		<p>【知識及び技能】 ・等角投影図法について、その効果を理解している。 ・主題を追求して創造的にあらわすことができている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、等角投影図法を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に課題に取り組み、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組むことができている。</p>	○	○	○	14
3 学 期	<p>E 題材 私のお気に入りの場所 (風景画)</p> <p>【知識及び技能】 ・アクリルガッシュの技法を理解し、主題を追求しあらわしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自ら選んだ風景から場の雰囲気などを感じ取り、作品制作に生かしている。 ・作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、その心情や創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にモチーフを選択し、感じ取った雰囲気などをもとにして創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、その心情と作品との関係などについて考える鑑賞活動に取り組む。</p>	<p>・指導事項 ○モチーフの写真撮影 ○風景画の制作 ○アクリルガッシュの使い方</p> <p>・教材 ○鉛筆、消しゴム、定規、写真、アクリルガッシュ、画用紙、教科書など</p> <p>・書画カメラ</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 ・アクリルガッシュの技法を理解し、主題を追求しあらわすことができている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自ら選んだ風景から場の雰囲気などを感じ取り、作品制作に生かすことができている。 ・作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、その心情や創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にモチーフを選択し、感じ取った雰囲気などをもとにして創造活動に取り組むことができている。 ・主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、その心情と作品との関係などについて考える鑑賞活動に取り組むことができている。</p>	○	○	○	18
									合計
									78

2 学 期	<p>D 文字の造形を学ぶ（行書）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行書の特徴である連続性や省略、筆脈の理解を深め、流れのある文字を書く技能を身に付ける。 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 楷書との違いを踏まえ、表現意図や場面に応じて書体を選び、自然な流れと美しさを備えた文字表現を行う力を養う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な表現の可能性に関心を持ち、自ら工夫しながら書く活動に積極的に取り組もうとする態度を育てる。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 行書の特徴（連続・省略・変化） 筆脈と流れ 楷書との比較 実用的な行書表現 短文練習 <p>○教材</p> <p>大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品</p>					<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行書の基本的特徴を理解している。 流れのある運筆で文字を書くことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 楷書との違いを踏まえて適切に書体を選んでいる。 自然な流れや美しさを意識している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 試行錯誤しながら表現を工夫している。 自分なりの書きやすさや美しさを探っている。 				33
	<p>E 場面に応じた書式</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手紙やはがき、掲示物などの基本的な書式や構成を理解し、場面に応じた適切な書き方を身に付ける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手や目的に応じて文字の大きさや配置、書体や言葉遣いを工夫し、伝わりやすく整った表現を行う力を養う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活の中で書を活用する意識を持ち、よりよい伝達や表現を目指して主体的に取り組む態度を育てる。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 手紙の書式（前文・主文・後文） はがき・宛名書き 掲示物・案内文 文字の大きさや配置 敬語・言葉遣い <p>○教材</p> <p>小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品</p>					<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な書式を理解し、適切に書ける。 場面に応じた書き方ができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手や目的に応じて表現を工夫している。 読みやすさと見やすさを考えて構成している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活で活用する意識を持って取り組んでいる。 より良い伝え方を考え続けている。 				7
3 学 期	<p>F 社会での書</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 履歴書やのし書きなど、社会生活に必要な書の形式やマナーを理解し、正確かつ丁寧に書く技能を身に付ける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的な場面にふさわしい書の在り方を考え、信頼感や礼節を意識した表現を行う力を養う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の生活や社会との関わりを見据え、責任ある書の在り方について主体的に考え、実践しようとする態度を育てる。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 履歴書の書き方 のし袋・表書き 署名・記名 公的文書の書き方 マナーとしての書 <p>○教材</p> <p>小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品</p>					<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的に必要な書式を理解し、正確に書ける 適切な字形・書体で書ける <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的な場面にふさわしい書き方を考えている 丁寧さや信頼感を意識して表現している <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の生活を見据えて取り組んでいる 責任ある書の在り方を意識している 				7
	<p>G まとめ（創作・振り返り）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに習得した書の技能や表現方法を統合し、目的に応じた作品制作に生かすことができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや生活に関わるテーマをもとに、言葉と書の間接性を考えながら表現を構想し、作品として表現する力を養う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を設定し、主体的に制作や振り返りに取り組むとともに、書を生活に生かそうとする態度を育てる。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマ設定（生活・言葉） 構想と下書き 作品制作 鑑賞と講評 振り返り <p>○教材</p> <p>大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品、字書</p>					<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの技能を活用して作品を制作できる 適切な書体・構成で表現できる <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の意図や思いを表現している 言葉と書の間接性を考えている <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に構想・制作に取り組んでいる 学習の成果と課題を振り返っている 				4
合計											78

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 家庭科 科目 生活と文化

教科： 家庭科 科目： 生活と文化 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組

教科担当者：

使用教科書：（ 図説家庭基礎 実教出版 ）

教科 家庭科 の目標：

- 【知識及び技能】教科書の内容を理解し、実生活を向上させることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】家庭生活や社会の課題を様々な観点から考え、自分なりの価値観を築いている。
- 【学びに向かう力、人間性等】授業に積極的に参加し、家庭生活や社会の課題解決に活かそうとしている。

科目 生活と文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができる。	家庭生活や社会の課題を見つけ、解決しようとする。	家庭生活や社会について興味関心を持ち、よりよくするために学習する態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学期	5章 食生活をつくる 【知識及び技能】健康的な食生活をおくるための知識や技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】自身の食生活を分析し、課題を見つけ、判断し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】現在・将来の自身や家族にとっての食生活の課題を、より良くするために学習する態度を身に付けている。	・指導事項 ・私たちの食生活と健康 ・5大栄養素 ・食品の選択と表示 ・食品の衛生 ・食料自給率と食のグローバル化 ・食の未来と環境への取り組み ・食事摂取基準と食品群別摂取量のめやす ・献立作成 ・調理の基本 ・調理実習 - 準備・片付け・実習記録 - ・授業プリント・レポート	【知識・技能】教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができているかどうか。 ・プリント・レポートなどの内容 【思考・判断・表現】食生活の課題を見つけ、真剣に取り組み、解決しようとしているかどうか。 ・授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） 【学びに向かう力、人間性等】食生活の課題について興味関心を持ち、協力して、安全・衛生・効率を考えて作業ができたかどうか。 ・授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） ・プリント・レポートなどの提出状況	○	○	○	27
2 学期	6章 衣生活をつくる 【知識及び技能】健康的な衣生活をおくるための知識や技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】自身の衣生活を分析し、課題を見つけ、判断し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の現在の衣生活をふりかえり将来に向けてより良い生活を創造するために積極的に取り組む。	・指導事項 ・人と衣服とのかかわり ・衣服の機能 ・衣服の手入れ ・作品の制作 - 準備・片付け・実習記録 - ・教材 ・作品キット ・授業プリント・レポート	【知識・技能】教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができているかどうか。 製作品の完成度（努力点も含む） ・プリント・レポートなどの内容 【思考・判断・表現】衣生活の課題を見つけ、解決しようとしているかどうか。 ・授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） 【学びに向かう力、人間性等】衣生活の課題について興味関心を持ち、協力して、安全・衛生・効率を考えて作業ができたかどうか。 ・授業態度（授業準備・取組の様子・マナー） ・提出状況	○	○	○	33
3 学期	2章 子どもとかがわる 【知識及び技能】健康で充実した生活を支えるための知識や技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】自らの生活や社会の課題を見つけ、判断し表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の現在の生活をふりかえり将来に向けてより良い生活を創造するために積極的に取り組む。	・指導事項 ・子どもの誕生と発達 ・子どもの生活とあそび ・健やかに育つ環境と支援 ・子どもを守る法律・制度 ・授業プリントの記入 ・課題解決をし、レポートにまとめる。	【知識・技能】教科書の内容を理解し、実生活をふりかえることができているかどうか。 ・プリント・レポートなどの内容 【思考・判断・表現】家庭生活や社会の課題を見つけ、解決しようとしているかどうか。 【学びに向かう力、人間性等】家庭生活や社会課題について興味関心を持ち、より良くするために学習する態度を身に付けているかどうか。	○	○	○	18

合計
78

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

外国語（英語）科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語（英語） 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 3 学年 A 組、 C 組
 教科担当者：
 使用教科書：（三省堂 Vista English Communication Ⅱ）
 教科 外国語（英語） の目標：

- 【知識及び技能】 外国語特有の音声・アクセントや語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める。これらの知識を、聞く、読む、話す、書くことに用いて実際のコミュニケーションの場面で目的や状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深める。聞き手、読み手、話し手、書き手に伝えようと主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	学	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	LESSON 1 World Dance Performances 【知識及び技能】 動詞+目的語+to 不定詞、疑問詞+to 不定詞を使用できるようにする。 文法を理解し、文の構造を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 動詞+目的語+to 不定詞や疑問詞+to 不定詞を用いて意図や疑問に思うことを伝えられるように、自分自身の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に各国の伝統舞踊についてその違いや文化との結びつきについて考える。	・指導事項 ○動詞+目的語+to 不定詞の理解、用法 ・同じ言い方に用いられる動詞 ○名詞句（疑問詞+to 不定詞） 同じ言い方に用いられる疑問詞									13
	LESSON 2 A Piece of Cake 【知識及び技能】 疑問詞で始まる節を用いて使用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 基本パターンを用いながら、自分自身の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 英語と日本語の慣用句について考え、主体的に自分の考えを発信する。また周りの生徒は発表者の意見や考えを共有する。 定期考査	・指導事項 ○when + 主語 + 動詞の形の疑問詞で始まる節を理解 ○基本フレーズを用いた自分で作った文章に関する発表									13
2 学 期	LESSON 3 Quokka 【知識及び技能】 ・使役動詞の理解やその受け身への書き換えができるようにする。 ・知覚動詞の構文を理解し、使用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・let + 名詞 + 動詞の原形 ・see + 名詞 + 動詞の-ing形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に絶滅危惧種の動物を通して自然環境について考えさせる。また、生き物と自然環境についての他者の考えを受容する。 定期考査	・指導事項 ○知覚動詞の理解 ○使役動詞の理解									16
	LESSON 4 Designing Stamps 【知識及び技能】 形式主語を用いた文の形、形式目的語の文章の理解、使役動詞の復習 【思考力、判断力、表現力等】 形式主語・形式目的語を用いた文章で、情報を得たり、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 職業意識に気づき、切手デザイン文化について知る。 定期考査	・指導事項 ○It is ~ to doの理解（形式主語） ○think it ~ to do（形式目的語）									15
3 学 期	LESSON 5 Mont-Saint-Michel 【知識及び技能】 現在完了進行形を現在進行形、現在完了形の使い分けに注意させる。 現在進行形と現在完了形の違いに注意させ、過去完了形、過去完了進行形の理解につなげる。 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて英文を理解し、考えを相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に日本の世界遺産について学び、世界遺産の景観を守るための人々の取り組みを考える。 定期考査	・指導事項 ○have been doing の理解 ○had + 過去分詞									17
	定期考査										1
合計											78

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

外国語（英語） 科目 英語コミュニケーション発展

教科： 外国語（英語） 科目： 英語コミュニケーション発展 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年（普通科・商業科）

教科担当者：

使用教科書：（三省堂 Vista English Communication I ）

教科 外国語（英語） の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーション発展 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英検5級レベルの英語力の習得を目標とする。英語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの多角的な理解を深め、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。	簡単な英語を用いて、身近な友達やALTと、日常的话题や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	様々な国と、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		聞	読	話 「や」	話 「発」					
Lesson9 Kids' Guernica 【知識及び技能】 ピカソの名作「ゲルニカ」の背景にある歴史背景と、ピカソの人物像を知る。また、名詞の後置修飾および関係副詞whereの用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 名詞の後置修飾および関係副詞whereを用いて、身近な様子や状況を英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に会話活動に参加し、他者とのやりとりを通じ、知識の習得・定着に努める。	・指導事項 ○名詞の後置修飾（現在分詞／過去分詞）、関係副詞where ○at the end of～, take～to…, both～and…, as… など。 ○教室内の英会話、発表	○	○	○	○		○	○	○	9
パフォーマンステスト 英検5級にチャレンジ① 【知識及び技能】 英検5級程度の英文や過去問を読んで、本文の内容、英文法、語彙について正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 英検5級レベルの英文を大まかに読み取り、語彙や文法について理解を深める。簡単な表現を用いて身近なことなどについて英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自分の考えを発信する。また、他者の意見や考えを共有する。	・指導事項 ○英検5級程度の英文法、語彙、会話表現 ○英検5級程度の英語表現を用いての英作文 ○教室内の英会話、発表	○	○	○	○		○	○	○	10
定期考査（中間）		○		○	○	実技試験（インタビュー、発表）	○	○	○	1
Lesson10 Ethical Fashion 【知識及び技能】 ファッションという身近なテーマをきっかけにSDGsと関連付けて「エシカル」な選択をすることを学ぶ。 【表現力等】 形容詞の比較級、原級、最上級を用いた表現を用いて、身近な様子や状況を英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に会話活動に参加し、他者とのやりとりを通じ、知識の習得・定着に努める。	・指導事項 ○形容詞の原級、比較級、最上級 ○be connected with～/with less…/in the long runなどの語句 ○エシカル、SDGsに關係する生産時の環境問題や産業に関わる人々の労働問題 ○教室内の英会話、発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 形容詞の原級、比較級、最上級について正しく用法を理解する。また、エシカルな事柄や現代の産業の問題点を整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 形容詞の原級、比較級、最上級を用いて、エシカルな事柄や問題点について自分の考えを英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に会話活動に参加し、他者とのやりとりを通じ、知識の習得・定着に努めることができる。	○	○	○	12
パフォーマンステスト 英検5級にチャレンジ② 【知識及び技能】 英検5級程度の英文や過去問を読んで、内容を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 英検5級レベルの英語を用いて、身近な事柄について自分自身の考えを英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自分の考えを発信する。また発表者の意見や考えを共有する。	・指導事項 ○英検5級程度の英文法、語彙、会話表現 ○英検5級程度の英語表現を用いての英作文 ○教室内の英会話、発表	○	○	○	○	【知識及び技能】 英検5級程度の英文の内容、英文法、語彙、会話表現を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 英検5級程度の英文法、語彙、会話表現を理解することができる。簡単な表現を用いて身近なことなどについて英語で積極的に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 グループ活動において他者の考えを共有することができる。また、既出単語以外の単語を広く学び、会話等において適切に活用することができる。	○	○	○	5
定期考査（期末）		○		○	○	実技試験（インタビュー、発表）	○	○	○	1

1学期

2 学 期	<p>パフォーマンステスト 英検 5 級にチャレンジ③</p> <p>【知識及び技能】 英検 5 級程度の英文や過去問を読んで、内容を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 英検 5 級レベルの英語を用いて、身近な事柄について自分自身の考えを英語で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自分の考えを発信する。また、発表者の意見や考えを共有する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>○英検 5 級程度の英文法、語彙、会話表現</p> <p>○英検 5 級程度の英語表現を用いての英作文</p> <p>○教室内の英会話、発表・指導事項</p>	○	○	○	○	○	○	○	9	
	定期考査（中間）		○	○	○	○	○	○	○	1	
	<p>ENJOY READING! The Story of Oshin, A Japanese Cinderella</p> <p>【知識及び技能】 「日本のシンデレラ、おしん」の物語を英語で読み、英語による新鮮な解釈を楽しむ。また、仮定法過去の用法を学ぶ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 仮定法過去の用法を用いて、身近な事柄を英語で相手に伝えられるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 物語を通して、昔の日本に息づいていた美德や考え方について考えさせる。グループ活動において他者の考えを受容する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>○基本文型、動名詞、不定詞、分詞、肯定文、否定文、疑問文、命令文・指導事項○仮定法過去、否定疑問文、Whatで始まる感嘆文</p> <p>○日本事象を説明する英語 bow / fan / goddess Benten など</p> <p>○once upon a time/ all day and all night, pass～to…, say to oneself などの語句</p> <p>○教室内の英会話、発表</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	12
	<p>Enjoy Communication1 How about this one?</p> <p>【知識及び技能】 英語を使って海外で買い物をしたり、国内で外国人と対応するために必要な表現を学ぶ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 “How about this?” “It looks nice on you.” 等の基本表現を理解し、自分の考えを英語で伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 英語で買い物をするという活動を通して、日本独特のおみやげの文化などについて考えさせる。グループ活動において他者の考えを共有する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>○買い物の基本表現 How much? / May I help you? / I'm looking for-/How about this one? / It looks nice on you. / I'll take it. など。</p> <p>○dollar, yenなどの通貨の種類</p> <p>○教室内の英会話、発表</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	2
	定期考査（期末）		○	○	○	○	○	○	○	○	1
3 学 期	<p>ENJOY COMMUNICATION3 It's on Your Left</p> <p>【知識及び技能】 自然な対話の流れの中で、英語で道をたずねたり教えたりする表現を学ぶ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 基本的な道案内の英語表現を学び、身近な人との会話を楽しむ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 道案内の英語表現について主体的に学び、他者と共有する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>○道案内の基本表現 Excuse me / How can I get to～? / Go along this street / Turn right(left) / It's on your right(left) など。</p> <p>○street, block, right, leftなど道案内や方角に関する語句</p> <p>○教室内の英会話、発表</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	8
	<p>Take a Break3「世界の名物料理」</p> <p>【知識及び技能】 英検準 2 級の過去問を用いて、文法、イディオム、会話表現に多角的に触れる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分自身のことや世界の名物料理について英検準 2 級～3 級程度の表現を用いて発表する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、身近な話題や世界の名物料理を英語で語れるようにする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>○各国の代表的な料理について知る blini (ロシア)、tacos (メキシコ)、pho (ベトナム)、buuz (モンゴル) 等。</p> <p>○様々な国名、味を表す表現を学ぶ Russia / Mexico / Vietnam / Mongolia / New Zealand/ tasty / sour / sweet / salty など。</p> <p>○教室内の英会話、発表</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	4
	定期考査（学年末）		○	○	○	○	○	○	○	○	1
<p>1年のまとめ</p> <p>【知識及び技能】 代名詞、基本文型、助動詞、完了形、関係詞等、文法事項を幅広く復習し、豊かな表現力を育成する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 既習の文法事項を幅広く用いて、身近な事柄について英語で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 文法を主体的に学び、自分の考えを英語で表現し、友達と多言語でコミュニケーションする楽しさを知る。</p>	<p>○1年間の総復習</p> <p>○代名詞、基本文型</p> <p>○助動詞、動名詞、不定詞</p> <p>○現在完了形、受動態</p> <p>○関係詞、分詞</p> <p>○比較、仮定法、知覚動詞、過去完了形、過去完了進行形など</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2

合計

78

